

第1回猛暑対策展・無電柱化推進展が開催されました

◆展示会に出展しました

2015年7月22日から24日までの3日間、東京ビックサイトにおいて、第1回「猛暑対策展」、無電柱化推進展が開催されました。

梅雨明け直後ということもあり、大変な猛暑の中の展示会でした。



展示会場の一部

◆猛暑対策展

暑い夏に当社イチオシの「NSPオリジナル空調服」を始め、今後発売予定の「ハーネス用空調服」(高所作業用)、「空調ヘルメット」、「クールクッション」、「エアクールクッション」なども同時に出展させて頂き、涼しさを肌で体感して頂くことができ、多くのお

お客様に製品の良さをPRすることが出来ました。

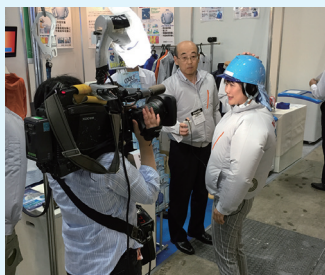


空調服のブースでたくさんのお客様に説明している様子

◆TVのニュースに出ました

展示会の期間中、空調服のブースにはTVや、新聞などの報道関係者が多数来場し、インタビューも受けました。

報道関係者に事前案内された書類のトップに「空調服」が注目商品として掲載されていたこともあり、各社で空調服を取り上げて頂きました。



空調服のブースにTVカメラが入っている様子

第16号
2015.8月

NSP
株式会社 エヌ・エスピー
<http://www.kkns.jp>
バックナンバーはホームページからダウンロードできます

実際にその日の夕方や、翌朝の報道番組で、空調服が数多く案内され、「ニュースを見て来た」という方も多数来場されました。

◆無電柱化推進展

無電柱化(主に電線共同溝)を推進するにあたり、当社の土木用レンタル品「水圧四面梁」、「管クリイナ」、「矢板支柱フェンス」などを出展させて頂き、各方面のお客様に製品の良さを知って頂くことが出来ました。



無電柱化推進展での当社ブース

◆今後の無電柱化計画

東京都は2020年までに中央環状線の内側で無電柱化を100%とする方針を取っています。また、現在審議中の電柱の新設を原則禁止する「無電柱化推進法案(仮称)」が施行されれば、全国的にも無電柱化の動きが強力に波及するとともに、市場規模は大きく拡大し、関連技術のニーズはますます高まると予想

されます。

◆大盛況でした

両展示会は、第1回目ということもあり、展示会のブースにお客様が来場して頂けるか心配でしたが、食事を摂る時間も無いほどの来場者に恵まれ、大盛況でした。

お客様の関心の高さを痛感させられる展示会でした。



たくさんの来場者でにぎわう会場

◆来場者数について

当初の来場者数の予想は約2万人でしたが、実際は3万679人のご来場があり、予想を遥かに上回る盛況振りでした。(来場者数は猛暑対策展・無電柱化推進展を含む6展示会の合計数)

◆展示会場で感じた事

《猛暑対策展》
日頃より「NSPオリジナル空調服」をご紹介させて頂いておりますが、まだまだこの商品

の認知度が低いことを感じると共に、更なる工夫を凝らした、より良い商品づくりを目指していきたいと改めて感じる展示会でした。

又、お客様の使用環境に適した空調服、及び関連商品をご提案できるよう努力して参る所存です。

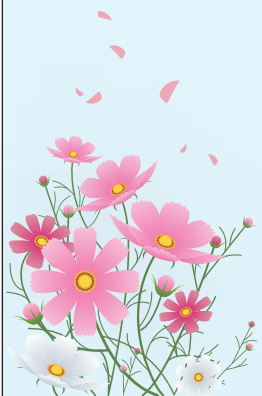
今後ともよろしくお願い致します。

《無電柱化推進展》

当社の「水圧四面梁」は、国土交通省の「NETIS」の他に、「東京都建設局新技術データベース」にも登録されている製品であることを全面に押し出して、お客様にPRさせて頂きました。

通常はなかなかお会いすることができない通信関連や電設関連のお客様に直接お話しすることが出来たので、とても有意義な展示会だったと思います。

この機会を無駄にすることなく、実際に工事をされるお客様のためになるようにつなげて行きたいと思っています。ありがとうございました。



《36パネル現場レポート》

NSP通信第14号で特集しました、GPL土留現場レポートが好評でしたので、今回は大口径長尺管敷設用の「36パネル」の現場レポートを特集してみたいと思います。

この「36パネル」は、送水管などを耐震管に入れ替える際に使用されることが多い、ダクタイル鉄鉄管を、水平に吊り降ろすことが出来るように設計した土留機材です。

当社の各地の営業からの報告をご覧ください。

【岩手県北上市】

岩手県中部地域では、岩手中部広域水道企業団と、北上市、花巻市、紫波町が一体となり平成23年度～36年度の期間で水道整備工事を行う策定となっております。



36パネル設置状況

今回岩手県北上市のバイパス管布設工事にてクイック土留36パネルを納入させて頂きました。

た。

使用する管は口径600ミリ、長さ6mの鉄管で、掘削深2～3.5m、開削巾1.5mの現場でした。

設計は木矢板となっていましたので、当初お客様は金額面で難色を示されていました。弊社より提出した36パネルの現場写真と強度資料にて、安全性と施工性を再検討したうえで、クイック土留36パネルを採用して頂きました。

初めて36パネルをご使用になるお客様でしたので、組立て時に「スイングのやりやすさ」や「注意する点」等を、あらかじめ説明させて頂きました。



φ600×6m管敷設状況

実際の現場では、「油圧ジャッキを使用することもなくサポートがスイングできて、ラクに管の布設が出来た」といった感想や「岩手の気候では、パネルの縦梁の中が凍るので、水抜き用の穴があった方がよい」など

貴重なご意見を頂くことができました。

今回、お客様の現場にて貴重なご意見・体験をさせて頂いたことにつきまして、この場をお借りし御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

盛岡営業所 八城 裕

【長崎県南島原市】

長崎県南島原市で、φ1000×5mの管を埋設する水路の緊急発注があり、設計では、簡易土留の設計になっておりましたが、通常の簡易土留では、再下段サポートが邪魔になり、取り外すことも出来ないため、管の布設が厳しいことから、36パネルを提案し、採用して頂きました。

現場状況としては、海水浴場の隣の施工だったため、さらさらの砂質で、掘削しては崩れるという悪条件の現場でした。



36パネル設置状況

今回ご利用頂きましたお客様からのご意見は、36パネルの頑丈さは作業業者にも安心感を与えることができることと、クイックサポートがスイングする事により、手軽に管布設ができる非常に良いパネルと好評価を頂きました。

難点は、捨て梁を準備するのが面倒なくらい。

営業担当者としては、今まで縦梁連結金具を使った施工方法を提案していましたが、縦梁連結金具での施工に比べ、最下段サポートを高い位置に設置する事ができ、また、サポートをスイングさせることで長尺管を水平に吊り降ろすことの出来る36パネルを、今後は積極的提案し、受注に繋げていきたいと思っています。

今回ご利用頂きましたお客様、本当にありがとうございました。



φ1000×5.0m管敷設状況

佐賀営業所 下川 貴則

《編集後記》

皆さんの社内のカタログ保管庫はどんな状態ですかね？住宅事業部中部営業所の保管庫は、ピカピカですよ。

関係者の皆さんに「四つのお願い」をしました♪

- 1 要らないものは、容赦なく捨てましょう。
- 2 仕入メーカーさんが自由に出入りでき、イチ押しの新製品チラシは前置きに、期限切れのチラシは持ち帰りましょう。
- 3 事務員さんの手が届く高さに置き換えましょう。
- 4 そこに居て気持ちよい空間になるように皆で心掛けましょう。

カタログ置き場がピカピカになると、NSP通信も整理され、カタログを送付するときに同梱したり、応接室や来社カウンターに最新号を並べたりしています。

NSP発のカatalogや通信は、お客様との重要な「栄光への架け橋」です。大切に扱いたいです。



住宅事業部中部営業所

糸魚川 和宏